

- 問1 地中海沿岸に見られる、夏に乾燥し冬に雨が降る気候を何という？
- 問2 北海の海底から採掘されている重要なエネルギー資源は何？
- 問3 アルプス山脈の南側に多く見られる、夏に乾燥し冬に雨が降る気候を何という？
- 問4 乾燥に強い硬い葉を持つ木々が茂り、オリーブなどの果樹栽培が行われる気候に適した農業形態を何という？
- 問5 東ヨーロッパに位置し、ドニエプル川沿いに発展したウクライナの首都を何という？
- 問6 ライン川沿いに位置し、かつて石炭や鉄鉱石の集積によって発展したドイツの工業地帯を何という？
- 問7 ロシアにおいて、人口の多くが集中し、首都が置かれている地域を何という？
- 問8 イタリアや地中海沿岸に見られる、夏に高温で乾燥し、冬に雨が降る気候を何という？
- 問9 イギリスの冬の気温が緯度のわりには比較的高い理由となっている、一年中西から吹く風を何という？
- 問10 共通通貨ユーロを利用する国々の金融政策を一元的に管理している機関を何という？
- 問11 豊かな自然や景観を生かした、アルプス山脈の周辺地域で特に盛んな産業を何という？
- 問12 イベリア半島の大部分を占めるスペインの首都を何という？
- 問13 ウクライナのドニエプル川流域で工業発展を支えた、重要な天然資源を何という？
- 問14 ドイツの北部の冷涼な気候を活かした、乳牛を飼育して牛乳やチーズなどの製品を生産する農業を何という？
- 問15 一年のうちで最も気温が高い月と低い月の差のことを何という？
- 問16 ライン川の河口にあり、世界的な物流拠点として機能しているオランダ最大の港を何という？
- 問17 ヨーロッパ北西部で牧草の育成に適している、涼しく湿潤な気候を何という？
- 問18 スペインの南部に見られる、夏に乾燥し冬に雨が降る気候帯を何という？
- 問19 ウクライナの広大な平原に広がる、肥沃で小麦などの栽培に適した土壌を何という？
- 問20 偏西風とともに、ヨーロッパを温暖な気候にする働きを持つ暖流を何という？
- 問21 オランダに位置する、ヨーロッパの玄関口として国際的な物流拠点となっている港を何という？
- 問22 冷涼で安定した気候を活かし、ヨーロッパ各地で盛んに行われている、牛などの家畜を飼育して乳製品を作る農業を何という？
- 問23 通貨の価値が変動することで生じる損失の可能性を何という？

答え合わせ・解説

| | | |
|-----|-------------------|--|
| 問1 | 答え 地中海性気候 | この気候は「地中海性気候」と呼ばれます。最大の特徴は、温暖でありながら、夏には雨が非常に少なく乾燥し、逆に冬には比較的雨が多く降ることです。この乾燥した夏という環境に適応するため、現地では古くから乾燥に強い植物を育てる工夫がなされてきました。日照時間が長いため、夏は観光地としても非常に人気が高い気候帯です。 |
| 問2 | 答え 石油 | 北海の海底には、石油や天然ガスが豊富に眠っていることが確認されました。特にイギリスやノルウェーなどの国々が、この海底油田から莫大な富を得ることで経済を急速に発展させました。過酷な気象条件の中での採掘技術は、世界屈指のレベルを誇ります。 |
| 問3 | 答え 地中海性気候 | 地中海性気候は、夏は亜熱帯高圧帯に覆われるため高温で乾燥し、冬は偏西風の影響で温暖で降水が多いのが特徴です。この気候に適した作物として、オリーブやブドウ、柑橘類などの栽培が伝統的に行われています。アルプス山脈の南側は、山地による遮蔽効果もあり、典型的な地中海性気候の恩恵を受ける地域です。 |
| 問4 | 答え 地中海式農業 | この気候に適した農業が地中海式農業です。夏には乾燥に強いオリーブやぶどう、柑橘類などを栽培します。また、冬の雨を利用して冬小麦を育てることもあります。 |
| 問5 | 答え キーウ | キーウは、ウクライナの首都であり、国の中央部に位置する最大の都市です。ドニエプル川の流域にあり、歴史的にはキエフ公国の中心として発展しました。現在はウクライナの行政機能が集まるだけでなく、交通や産業の拠点としても非常に重要です。 |
| 問6 | 答え ルール工業地帯 | ルール工業地帯は、豊富な石炭資源に恵まれていたことに加え、ライン川という水運を利用した原材料の輸送が極めて容易でした。このため、鉄鋼業を中心に大規模な工場が密集し、ドイツの経済復興を支える工業地帯となりました。 |
| 問7 | 答え モスクワ | モスクワは、ロシア連邦の首都であり、政治・経済・文化の拠点です。ヨーロッパ側平原の中心にあり、ロシアの全人口の大部分が居住する地域にあります。交通網もこの都市を中心に発達しており、鉄道や航空路の結節点としての機能を持ちます。 |
| 問8 | 答え 地中海性気候 | 地中海性気候は、夏には雨が少なく乾燥しており、冬には比較的温暖で雨が降るといった独特の気候です。この環境では、乾燥に強いオリーブやぶどう、柑橘類などの果樹栽培が非常にさかんで、イタリアの農業を支える基盤となっています。また、この温暖で晴天の多い気候は、観光業にも大きな恵みをもたらしています。 |
| 問9 | 答え 偏西風 | この現象の主な要因は、北大西洋海流という暖流と、年間を通じて西から吹く偏西風です。この二つが海からの暖かい空気を運び込み、大陸西岸に海洋性気候をもたらしています。この気候は年間を通して気温の変化が少なく、降水量が安定していることが特徴です。 |
| 問10 | 答え 欧州中央銀行 | 欧州中央銀行（ECB）は、ドイツのフランクフルトに本部を置く機関です。ユーロ圏内の金利の設定や、物価の安定を維持するための政策決定を専門に行っています。 |
| 問11 | 答え 観光業 | 観光業は、アルプス山脈周辺の国々にとって非常に重要な産業です。スキー場や登山ルート、美しい村々が観光客を呼び込み、宿泊施設やガイド、関連するサービス業が経済を支えています。多くの国々が隣接する交通の要所であるため、国際的な交流の場ともなっています。 |
| 問12 | 答え マドリッド | マドリッドはスペインの政治の中心地であり、多くの政府機関や歴史的な建築物が集まっています。また、プラド美術館をはじめとする世界的な美術館がいくつもあり、文化の拠点としても知られています。 |
| 問13 | 答え 鉄鉱石 | 鉄鉱石は鉄を取り出すための原料で、ウクライナのドニエプル川流域ではこの資源が豊富に産出されました。これを利用することで、鉄鋼業を中心とした重工業が急速に成長しました。豊富な地下資源を活用できることは、工業立地において大きな利点であり、ウクライナが工業大国となる基礎を築きました。 |
| 問14 | 答え 酪農 | この気候条件を活かし、乳牛を飼育して牛乳、バター、チーズといった乳製品を生産する酪農が行われています。また、飼料作物を育てる耕種農業と組み合わせた「混合農業」が一般的です。効率的な土地利用により、ドイツは欧州有数の酪農大国となっています。 |
| 問15 | 答え 年較差 | 年較差は、最も暖かい月の平均気温と、最も寒い月の平均気温の差を指します。ヨーロッパの西岸海洋性気候は、海からの湿った風と温暖な海流の影響を受けるため、この年較差が小さく、一年を通じて過ごしやすのが特徴です。 |
| 問16 | 答え ロッテルダム港 | ロッテルダム港は、ライン川の河口に位置するオランダ最大の港です。内陸部と海を結ぶ「ヨーロッパの玄関口」として、世界中から集まる巨大な貨物船を受け入れています。最新鋭の自動化設備を備え、効率的な物流を実現しているのが特徴です。 |
| 問17 | 答え 西岸海洋性気候 | 西岸海洋性気候は、年間の降水量が比較的安定しており、乾燥しすぎないため牧草がよく育ちます。この環境は牛や羊の放牧や飼育に適しており、酪農や混合農業が発達する大きな要因となりました。 |
| 問18 | 答え 地中海性気候 | この気候条件は植物の成長サイクルに適しており、古くからオリーブ、ブドウ、柑橘類などの栽培が盛んに行われてきました。スペインの南部だけでなく、イタリアやギリシャなど地中海沿岸の多くの地域で見られる典型的な気候区分です。 |
| 問19 | 答え 黒土（チェルノーゼム） | 黒土（チェルノーゼム）は、腐植分を多く含んだ非常に肥沃な土壌で、色が黒いのが特徴です。この土壌があるおかげで、ウクライナは「ヨーロッパのパンかご」と呼ばれるほど、小麦をはじめとする穀物の生産が非常に盛んです。気候条件も適しており、大規模な農業経営に適した環境が整っています。 |
| 問20 | 答え 北大西洋海流 | この現象の主な要因は、北大西洋海流です。熱帯から運ばれてきた温かい海水をこの海流が北大西洋へと運び、そこから偏西風がその暖かい空気をヨーロッパ大陸へ運ぶためです。この二つの働きによって、ヨーロッパの冬は比較的マイルドなものとなり、雪が積もる地域であっても都市活動が制限されることは少なくなっています。 |
| 問21 | 答え ロッテルダム港 | ロッテルダム港は、ライン川の河口に位置し、内陸部への水運と海上輸送を結ぶ極めて重要な拠点です。巨大なコンテナ船が寄港できる深い港を持ち、大量の貨物をヨーロッパ各地へ送る物流の中心として機能しています。 |
| 問22 | 答え 酪農 | この環境を活かして、牧草を育て、牛を放牧して牛乳などを生産する酪農が非常に盛んです。特にデンマークやオランダなどは酪農製品の輸出が有名です。 |
| 問23 | 答え 為替リスク | 為替リスクとは、異なる通貨同士で取引を行う際に、支払う時と受け取る時のレート差によって損益が発生する可能性のことです。共通通貨であるユーロを採用することで、加盟国間ではこの変動を気にする必要がなくなります。 |